

九条北小学校 校長室だより

NO.35 令和4年1月17日



ここ数日、寒さの厳しい日が続いています。そんな中ですが、児童たちは、休み時間は運動場に出て元気に過ごしています。児童たちにも健康管理に気をつけるよう伝えていますが、ご家庭でも、よろしく願いいたします。



また、新型コロナウイルス感染症の陽性者数が急激に増加しています。今日の児童朝会でも、再度、マスク着用・手洗いの徹底等と呼びかけています。もし万一、風邪症状等がみられるときには、早期の病院への受診をお願いいたします。

★ 子ども会キックベース「御幣島杯」で第3位！！ ★

子ども会のキックベースのチームが、「御幣島杯」で第3位を獲得しました。新型コロナウイルス感染症の影響で、思うように練習もできない中、みんなの力を合わせて獲得したトロフィーです。今日の児童朝会は、Teamsで実施しましたが、代表として6年生に参加してもらいました。各教室からですが、がんばったキックのメンバーへ拍手も贈りました。もらったトロフィーは、玄関にケースに飾ります。児童たちには、それぞれ得意なことでも苦手なこともあると思いますが、自分が得意なところで力を発揮してもらいたいことを伝えています。



★「1.17」灯籠に黙とう、各地で追悼行事 阪神・淡路大震災 27年★

『「1.17」灯籠に黙とう、各地で追悼行事 阪神淡路大震災から27年』という見出しのニュースや新聞記事が出ていました。今日1月17日は、大きな被害を出した阪神・淡路大震災から27年目を迎えます。

阪神・淡路大震災は、1995年1月17日午前5時46分に起きた大都市直下型地震で、震源は兵庫県の淡路島北部、マグニチュードは7.3でした。気象庁の観測史上初の最大震度7だったといえます。死者6434人、行方不明者3人、負傷者4万3792人を出し、全半壊した住宅は約25万棟という大きな被害を出しました。

6年生は、修学旅行で、実際に震災を経験したからお話を聞き、震災の時のまま残した液状化で浮き上がった地面や被害を受けた家も見学しましたね。

震災の日、私自身は、大きな揺れに目が覚めたのを覚えています。大阪市内もすべての交通機関が止まり、場所によっては、食器棚や本棚が倒れた家もありました。

当時、まさか、このような大きな地震がくるとは、誰も思っていなかったため、十分な備えができていなかったのが大きな被害、そして復旧にとっても長い時間がかかってしまいました。この阪神・淡路大震災がきっかけとなり、防災・復興対策が見直され、さまざまな仕組みがつくられていきました。災害ボランティアが広まったきっかけにもなっています。

特に兵庫県では、学校で防災教育に力を入れています。さらには毎年1月17日には、市町村単位で避難訓練もしています。そうやって災害に備えることの大切さを伝えてきていますが、年がたつとともに、記憶の風化が進み、これからの世代に、備えの大切さを伝え継ぐことが課題になっているといえます。

私たちも、この機会を通して、防災の備えについて考えてみましょう。ぜひ、お家で話をしてみてください。